

みんなで支えあう 福祉のまちづくり

社協広報 149
2023.1 vol.

発行 社会福祉法人
上富田町社会福祉協議会

〒649-2105
和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 755-1
上富田福祉センター
tel.0739-47-4757 fax.0739-47-4731
Email k-syakyō@mb.aikis.or.jp
H.P <http://kamitonda.shakyo-w.jp/>

社協だより

花句ふ

梅は無双の

こずゑかな

宗祇



新年のごあいさつ

上富田町社会福祉協議会

会長 三 栖 徹

あけましておめでとうございます。皆様、お健やかに新春をお迎えの事とお喜び申し上げます。平素は社会福祉協議会の活動に深いご理解とご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。コロナ禍になって3年目、世界中の関係者がワクチンや薬の開発に現在科学の粋を集結し取り組まれています。令和5年こそは明るい兆しが見えてくる希望の年になり、新型コロナウイルス以前の生活に早く戻れることを祈るばかりです。さて、皆さんも強く心に残っていることと思いますが、厚生労働省は2010年（平成22年）6月に、国民が一生のうちで健康面が支障なく日常生活を送れる期間を「健康寿命」と名付け、初めて公表しました。2010年の「健康寿命」は男性70・42歳、女性73・62歳だったそうです。今公表されている、直近2019年（令和元年）の「健康寿命」は男性72・68歳、女性75・38歳

となっています。男女とも約2歳延びています。

これは公的支援や医学の進歩等と相まって、皆さんの健康に対する意識が高まり、自らが健康を維持するため、栄養のバランス・運動・睡眠に留意し、そして生きがいを求め日々を過ごす「自助努力」がなされつつあることによるものと考えられます。社会福祉協議会は町の委託も含め「てんとうむし教室」をはじめ「まちかどカフェ」などを行い、皆さんの参加を得ています。こうした「相互努力」も「健康寿命」の延びる一助になっていると考えます。皆さんには今後ともご活用いただければ幸いです。

一方で、高齢者や高齢者の取り巻く環境はさらに厳しくなっています。

厚生省の推計によると2020年（令和2年）認知症の高齢者が約602万人となっており、実に65歳以上の6人に1人となり、さらに増加傾向にあると予測されています。同じ年代の方々は不安な思いをしているのではないのでしょうか。

次に少子化について、わが国では、1990年（平成2年）の「1.57ショック」（1.57は合計特殊出生率と言って一人の女性が生涯に出生する平均値の子供の人数

の事）を契機に、国は、出生率の低下と子どもの数が減少傾向にあることを国の最重要課題とし、子育て支援に様々な政策を講じてきました。子どもを産み育てる事はプライベートな事ではありませんが、当時我が国の人口をバランスよく維持していくには合計特殊出生率2.01人必要でした。しかし、現状の出生率は1.57をも大きく下回り歯止めがかかっていません。出生率の低下は社会・経済などすべてにわたり影響が大きく、福祉分野においてもマンパワー不足が顕在化しております。「施設はあるが、そこで勤める職員がいない。介護認定を受けているが、利用したくても利用できない」という現実が起きるのではないかと危ぶまれています。

当社協といたしましては職員ともども「住み慣れた地域で、いつまでも安心して生活する」という町の基本理念の実現にいささかなりとも取り組み、町民の皆さま方のニーズに対応できるよう行政の指導を受けながら関係団体・関係の皆さんと連携を密にし、推進して参る所存でございます。これからのご指導・ご協力をお願い申し上げます。役職員一同新年のご挨拶といたします。

令和5年元旦

謹賀新年

本年も変わらぬご支援を
よろしくお願い申し上げます。

会長	三 栖 徹
副会長	山 本 陽 子
理 事	谷 本 義 久
〃	藪 内 博 文
〃	山 本 敏 次
〃	林 弘 子
〃	榎 木 正 行
〃	谷 端 清
〃	中 井 照 恵
監 事	木 村 陽 子
〃	福 田 紘 治
〃	岩 本 岩 男

社会福祉協議会

職員一同



健康寿命を のばしましょう

社会活動への参加

生きがいつくり

日常生活動作の向上



上富田町社会福祉協議会で
取り組んでいる介護予防事業

転倒骨折予防教室

・各地区 毎月2回

まちかどカフェ

・各地区 毎月1回

通所型介護予防事業

「ハナミズキの会」

・毎週火曜日・金曜日

早朝ウォーキング

・毎週水曜日



…等々

【お問い合わせ】

地域福祉課 ☎47-4757

令和4年度「愛の日」事業 実施報告

今年度も上富田町民の皆様からご協力頂きました社協会費を財源として、民生児童委員さんが在宅訪問（124名）、社協理事の方々が町内の福祉施設（8ヶ所）を訪問し、愛の日の品をお届けしました。



心配ごと相談

令和5年1月～令和5年3月までの相談日

上富田町社会福祉協議会では、下記日程で午後1時～3時まで心配ごと相談所を開設しています。費用は無料で、相談内容の秘密は厳守されます。

相談は、相談員3名、事務局職員1名で対応します。また、下線のついている日は法務局職員による相談も行っております。お気軽にお越し下さい。

上富田町社会福祉協議会(上富田福祉センター) TEL 47-4757

上 富 田 福 祉 セ ン タ ー	1月 5日(木)	1月19日(木)
	2月 2日(木)	2月16日(木)
	3月 2日(木)	
市ノ瀬農村環境改善センター	3月16日(木)	

※ 新型コロナウイルスの影響により、開設を中止する場合がございますのでご了承下さい。



他にも匿名の方のご寄付を頂いています。皆様方のご芳志に感謝申し上げます。

●金一封として
朝 来 向井 石子 様
生 馬 深見 博 様
岡 谷本 幸太郎 様

令和4年9月1日から令和4年11月30日まで社協へお寄せいただきました善意のご寄付です。厚くお礼申し上げます。

善意のご寄付お礼

たすけあいくちくまのステーション 活動報告



令和4年4月～令和4年11月

○活動件数 71件

○提供者人数 98名(のべ人数)

令和3年度11月末実績

○活動件数 30件

○提供者人数 40名

利用できる方は

上富田町内にお住まいの方で…

- 夫婦いずれかが65歳以上で
かつご自分で作業が行えない世帯
- 65歳以上の独居世帯
- そのほか町長が必要と認めた世帯

こんな活動もしています!

家具の移動



電球交換



絨毯入替



鎌・包丁砥ぎ

【訂正】

社協だより2022.10 vol.148号P.5「てんとうむし教室」の朝来コミュニティセンターと、くちくまの福祉バザー日程に誤りがありました。

正しくは、

・朝来コミュニティーセンター転倒予防教室は「第1・第3木曜日13:30～」

・くちくまの福祉バザーは「毎月第4日曜日」(変更になる場合があります)

訂正してお詫びいたします。



以前社協だよりにて、野田会館で月に1度集まり「趣味の会」を行っている岩崎地区の紹介をさせていただきました。

最高齢の95歳のちよさんがミシンを使い雑巾縫いを担当されており、「出来上がった雑巾は町内の小学校に届けできれば」と話されている内容でした。

今回、雑巾が縫い上がり、ちよさんに代わってご家族が朝来小学校に雑巾を届けてくれました。

募集中!

人は誰でも“心から聴いてほしい”のではないのでしょうか

第15回南紀傾聴ボランティア養成講座

- カリキュラム及び日程
13:00～16:30

第1日目	3月29日(水)
第2日目	4月12日(水)
第3日目	4月26日(水)
第4日目	5月10日(水)
第5日目	5月24日(水)
第6日目	6月7日(水)

- 講師 辻本哲史氏(京都傾聴塾指導者)
- 場所 上富田朝来コミュニティーセンター
(上富田町朝来 2778-1)

- 定員 5名
- 参加費 19,000円

*修了には全6回の出席が必要です。途中で休まれるとカリキュラムの進行上、継続しての受講はできなくなります。

講座の申し込みは2023年3月1日(水)迄京都傾聴塾南紀支部へご連絡下さい。

電話 090-6663-0410 (濱岡)